

「心れあひとらるおののあるまち
地域情報紙 Vol.28 秋号
No.104

はばたき

発行 地域力推進羽田地区委員会

編集 はばたき20編集委員会

我が家の子育ても終わり、私は小さなお子さんが大好きなので、何か少しでも子育てのお役にたてるような事はないかと思っ

ていたところ、「ファミリー・サポートおた」の情報を知り、設立と同時に申し込み、提供会員としてお手伝いをして早いもので今年で17年目に入りました。

「ファミリー・サポートおた」とは、育児のお手伝いをして欲しい方(利用会員)と、育児のお手伝いをしたい方(提供会員)の両者を登録して、援助活動により仕事と育児の両立や子育てする家庭にゆとりを持つていただけるよう、支援する会として、大田区では平成14年4月に事業が開始されました。

活動の内容としては、保育施設への送り迎え、学童の帰宅後の預かり、またリフレクシユのための預かりなど様々です。

利用されてきた方々には、共働きの方はもちろん、シングルマザーの方、看護師さん、保育士さん、産前、産後の方、また羽田地区の特徴でしょうか、空港関係の方の利用もありました。

夢と希望と...地域子育てを応援

初めてのお子さんは、やはり緊張した面持ちの子がほとんどで、状況が解らないのか淡々と過ごす子、メソメソ泣いている子、最初からハイテンションの子と様々ですが、日を追うごとに、我が家にも慣れ、迎えに行くと時など照れくさそうにニコニコしてくれ、また親御さんが迎えに来たとき等帰るのが嫌で困らせられる事も多いです。

そんなお子さん達も、小学生

私達も子育てを応援します!



提供会員のみなさん：長島さん(左上)、源平さん(右上)
大島さん(左下)、笠井さん(中央)、野村さん(右下)

高学年になり、サポートも遠ざかって、久しぶりに町中で見かけるとその成長に喜びと月日の流れを感じます。

女性の社会進出が当たり前になってきた昨今ですが、母親は仕事か育児かの二者択一を迫られ、核家族化により誰かの育児援助が受けられないのであれば、地域社会で育児サポートを担う事も大切であると思います。

近所のおじさん、おばさんが個々のニーズに対応して一対一で愛情を込めて見守ってくれ、気軽な話し相手になる「ファミリー・サポート」の存在意義は大きいと思います。

小さなお子さんと接するとたくさんの喜びをいただき、元気の素となります。単に預かるとひとくくりにするのではなく、地域全体で子育てを応援する事で、未来を担う子供達の健やかな成長にこれからも微力でも関わっていければと思っています。

どんな時もお子さんにとって一度きりの大切な大切な時、活動を通してこの瞬間に出会えた事、共に過ごせる時間を持つて、共に生きていける瞬間がえの事、私にとってかけがえのない宝物となっています。

(ファミリー・サポートおた地区リーダー 笠井せい子)

はばたき探偵団

空港跡地にて壁面展示が開催中

現在大田区では、「羽田空港跡地第1ゾーン(天空橋駅裏側、約一六・五ヘクタール)」（東京ドーム約4個分）の整備事業が展開されています。工事用の仮囲いが、高さ3mで、白いキャンパスのようになっており、羽田の歴史、文化、生活の様子が約50mに亘り、壁面展示されているので、空港まちづくり課の内田様、栗原様のお2人の案内で見学してきました。



展示を通じて昭和の思い出を伝える

展示期間は、平成30年2月からスタートし、概ね2年程度を予定し、3か月に1回程度テーマを変

え展示していくとのことですが。展示は「あのときの、羽田」と題し、第1回のテーマは「旧羽田三町」とかつて空港内にあった、羽田鈴木町、羽田穴守町、羽田江戸見町の様子を、今回見学時は第2回で、テーマは「海苔漁業」と題し、海苔採り、海苔付け、天日乾燥風景等の様子が、一・三m x 二・〇mの大きさで20枚程展示されています。



古き良き海苔漁業風景

今年の夏には、7月に行われた羽田神社の例大祭に合わせ、「羽田の夏、昭和編」をテーマに神輿の様子や羽田の夏の風景を、秋には、地域の小学生の皆さんに「50年後の羽田」をテーマに絵を書いてもらい展示していくのと

また来年1月下旬には、「あのときの、羽田」をみんなで作り出す！」をテーマに羽田のまちに関連する写真を皆さんより募集し、展示していきたいとのことでした。皆様が持っている羽田の写真、是非ご提供ください。

【募集する写真】

羽田のまちに関連する写真
(例：行事、風景、祭り等)
時代は問いません。

【募集期間】

平成30年10月31日(水)まで

【応募方法】

写真は、現物、電子データのいずれかで応募いただけます。詳細は空港まちづくり課 または羽田特別出張所までお問い合わせください。

大田区では地域の方々をはじめ、羽田空港を利用する多くの方々に見てもらい、昔の羽田はこんなだったと懐かしんでもらったり、2020年概成予定の新しいまちへの親しみ、期待感を展示を通して持っていたいただけたらと話されています。

なお、工事用仮囲いの中は旧滑走路のコンクリートを剥離し、平坦な状態に造成中で建物等はまだまだ何もありませんでした。今後の動向に期待です。

編集後記

10月21日(日)に第7回ふれあいまつり羽田・萩中が秋中公園少年野球場で、11月10日(土)11日(日)に水辺イベント(羽まちフェス)が穴守稲荷神社周辺で、11月25日(日)には待ちに待った羽田特別出張所新庁舎がオープンし落成式が盛大に行われます。

秋には大きなイベントがたくさんあります。イベントを通して人と人との絆が繋がります。はばたき編集委員もイベントに参加させていただきます。地域情報を発信していきます。

皆様からのご意見・ご投稿も宜しくお願い致します。

はばたき20副編集委員長 伊藤 幸子



期待される空港跡地開発